

# 飛躍

HIYAKU

第243号



東海大学付属高輪台高等学校 学校報

●発行日/2006年4月4日

●発行者/東海大学付属高輪台高等学校 校長・杉一郎

## 「知性と品性、そして感性を」

若き日に汝の思想を培え      Cultivate thy thought in thy early days  
 若き日に汝の体躯を養え      Make thy body vigorous in thy early days  
 若き日に汝の智能を磨け      Improve thy wisdom in thy early days  
 若き日に汝の希望を星につなげ      Chain thy hope to the stars in thy early days

**TOP\*NEWS**      **538名の3年生が巣立つ**  
**527名の新一年生を迎える 入学おめでとう**  
 卒業生、新入生ともに建学の精神を柱に新しい世界での飛躍を期待します。



多数の保護者に見守られ、厳粛に行われた卒業証書授与式



538名の総代で卒業証書を授与される鶴ヶ谷美里さん



## 新入生を迎えて——積極的な高校生活を

高橋 昇  
第1学年主任

新入生の皆さん、そしてご家族の皆様、ご入学おめでとうございます。

いよいよ待ちに待った高校生活が始まります。高輪台高校での出会いという「点」をこれから3年間かけて「線」にしていく、生徒諸君と私たちの共同作業が、今、始まったばかりです。ただ、その「線」を長いものにするか、短いものにするか、太いものにするか、細いものにするかが問題です。またその方法も千差万別です。どのような方法であっても、高校生活は高校生活です。それならばなおさらのこと、ぜひ充実した高校生活にしてください。

これからの学校生活は、中学時代以上に、すべて自分たちがそれぞれ人生の主役となって大きな舞台上で活躍してほしいものです。そのためには、待っているという姿勢ではなく、何事にも積極的に取り組むという姿勢が大切になってきます。本校の3年間には、皆さんの可能性を伸張するチャンスがたくさん用意されていると思います。問題は一人ひとりがそのチャンスを自分のものにするか否かということです。

「高輪台が何をしてくれるか」ではなくて、「高輪台で何ができるか」という気持ちを持ち続けて高校生活を過ごしてください。そして、卒業証書授与式当日、高輪台高校を選択して本当によかったという気持ちになってくれることを切望します。

## 2006年度 第63回入学式 校長告示(要旨)



校長 杉 一郎

本日は、ご来賓の方々をはじめ、多数の保護者の皆様にもご参列をいただき、入学式が挙行できます事をお喜びしております。527名の新入生の皆さん、誠におめでとうございます。

また、ご家族の皆様にも、心からお祝い申し上げます。

本校はご承知の通り、教育のハード、ソフトの両面で大きな改革を続けている最中です。

例えば、ハード面では、8年前にこの校舎が完成し、生徒が学習しやすい環境を整えました。4年前には、さいたま新都心に総合グラウンドを開設し、クラブハウスを竣工させました。この総合グラウンドでは、体育祭や移動教室で使用するとともに、野球部、サッカー部、陸上競技部、テニス部、ラグビー部、アメリカンフットボール部などの練習が夜間でも出来るよう照明設備も整えました。また、ソフト面では、授業は常に開放し、すべての教員は生徒による年4回の授業評価アンケートを参考に、より良い授業を目指して授業を展開しております。いつでも、どこでも、どの教員にでも質問できるように、生徒の目線で指導するように、常に心がけております。

一昨年度は、文部科学省よりSSH(スーパー・サイエンス・ハイスクール)に指定され、今年度の新入生は、1年11組をSSHの単独クラスにいたしました。

このような変革を生徒と共に、また、保護者の皆さんにもご理解とご協力をいただき、更に充実したものへと、定着させていきたいと考えております。

ところで、多くの新入生が、高校と大学合わせて7年間の一貫教育を受けるべく、本校を選ばれた事と思えます。学校といたしましても、皆さんの希望がかなうよう、手助けをいたします。

しかし、考え違いをしないしてほしいのです。高校・大学の一貫教育という事は、「勉強をしなくても大学に行ける」、「勉強をしなくてもいいのだ」、という事ではありません。高校生としての教養と、大学で学ぶ為の基礎学力は、しっかり身につけなければなりません。毎日毎日の努力の積み重ねが大切です。これからの3年間は、今、少年・少女である皆さんが、大人へと脱皮するための、長い人生の中で、最も大切な時です。他人に頼ったり、人任せにしないで、自分自身をしっかり鍛え、育ててほしいと思えます。

次に高校生活を始めるにあたって、3つの事をお願いします。

## 2006年度のスタート 学年主任の抱負



### 向上心を持とう

第2学年主任 笹木 春光

2年生の皆さんは、今どういう心境でしょうか。1年間を本校で過ごしたわけですが、果たせなかったことや後悔はないでしょうか。私は、それらはあって普通だと思いますし、こうも考えます。1年間を終えたところで「思い残すことはなく、満足だ」とは思えないはずだと。もちろん一生懸命に努力し、納得のいく結果を出せた人はいるでしょう。でも、その結果をどう受け止めるかが重要です。つまり、「こうやれば、もっと良かった(良くなる)かもしれない」

という、さらに高い位置に目標を置いたり、常に向上していきたいという意識を持つことが大切だと思います。だから、自分がやってきたことに決して満足してほしくはないのです。満足することは、自分の実力に見切りをつけることです。

極端な例ですが、成績が学年でトップになった・部活の都大会で優勝したとします。でもそれは、たかが高輪台で1番・東京都で1番となったに過ぎないのです。1番は1番なりに次の目標が必ずあるはずで、常に自分の位置よりワンランク上を目指す努力を期待します。皆さん、頑張りましょう。

その1つは、学習と部活動の両立をしてほしいという事です。

高校時代は心身共に発達する年代です。この時期に学習を通して、また、部活動を通して、大きく飛躍してください。現在在籍している生徒の約75%が学習と部活動の両立を行っています。成績上位者の大部分が両立をしている生徒です。本校の教職員は、指導力があります。また、熱意をもって指導にあたります。

2つ目は、時間を作って本を読んで欲しいということです。ストーリーだけを追うのではなく、腰をすえてしっかり読んで下さい。読書は人生の疑似体験をさせてくれます。その中で友情と裏切り、恋愛と失恋、そして人生の栄光と挫折など多くの事が体験できます。その事によって、人間や人生に対しての、深い理解を得る事ができます。

3つ目は、真の友人を持って欲しいということです。

学園の創立者松前重義博士の書き残された本の中に次のような一節があります。「学生時代は勉強も大事、運動も大いにやるべし、また、その間に人生観、世界観、歴史観といった基本的な思想を自らのものとして、高い理想に向かって努力したまえ、しかし、最も大切な事は、真の友人を持つ事だ、正しい目標に向かって共鳴し得る友人、すべてを許

しあえる友人を作りたまえ、でなければ、君の人生は大変寂しいものになる。」とあります。

皆さんの高校生活は今日から始まります。皆さんが同じスタートラインに並びました。何も焦る事はありません。ゆっくり時間を掛けて、お互いを大切にし、友情を深めて行って下さい。

本校は今年で創立63周年を迎えます。私ども教職員は、70周年、80周年に向けて、更なる努力を積み重ねて行きたいと考えております。

最後に、皆さんの3年間の高校生活が、希望に満ちた、充実したものとなる事をお祈りし、告示いたします。



1998年10月完成の校舎(手前はトップライト)



## 好きなものは何ですか

第3学年主任 伊藤 明

どんな人にも好きなものがあり、嫌いなものがあります。本が好き、音楽が好き、ゲームが好き、サッカーが好き、動き回るのが好き、食べるのが好き…。

そこで聞きます。あなたは何が好きですか。そして、どうしてそれが好きですか、と聞かれるとちょっと困るでしょう。好きだから好きだ、では答えになりません。改めて、何がなんで好きなのかを考えてみて下さい。すると、自分のことが少し分かるかもしれません。

人間には案外、ちっぽけなちょっとした自分の好みが一生涯を左右する、などということがあるようです。例えば、いま評判の養老猛司さんも、幼い頃からの虫好きが元東大医学部解剖学教授の仕事につながっていたとのことです。また、小さい頃に見た、西洋の絵の中の美しい女性の面影が、一生脳裏に焼きつく人があるように、いま好きなものはひょっとしたら一生好きかもしれません。それどころか、それが自分の最も大切な人生になる可能性もあります。

改めて、何がなんで好きなのか、考えて下さい。そこから新たに何かが始まったら、素晴らしいと思います。



# 2006年度 教職員 紹介

3月、538名の卒業生が巣立ち、また異動で多数の先生が本校を去りました。寂しいかぎりでした。その空  
 洞を埋めるように、新しい教職員が着任しました。さらに2日には、びかびかの1年生を迎え、あらたなメンバー  
 で2006年度のスタートです。さらなる飛躍を目指しましょう。ここに全教職員を紹介します。

## 校長・主任・室長等

校長	杉 一郎
副校長	片桐知己治
教頭	吾妻 俊治
事務長	神山 孝夫
教頭補佐・教務主任	森 公法
生徒主任	酒井 孝允
進路指導主任	梶野 雄二
研究主任	梶川 克之
危機管理室長	吾妻 俊治
生徒募集対策室長	片桐知己治
メディアセンター室長	田中 亨
教育総合相談室長	片桐知己治
情報管理室長	野々村 淳
保健室長	松澤 幾代

## 教科主任

教科	氏名
国語科	江口 淳二
地歴・公民科	宮島 孝一
数学科	桑原 賢二
理科	石井 良
保健体育科	米谷 昭人
芸術科	山口恵美子
家庭科	山本 泰子
情報科	高橋 幸夫

## 学級担任・学年所属

学年	第1学年		第2学年		第3学年	
主任	高橋 昇	英語	笹木 春光	保体	伊藤 明	国語
副主任	細田 功	地公	中島 洋介	数学	米谷 昭人	保体
1組	普 細田 功	地公	文 大澤 泉	英語	文 米谷 昭人	保体
2組	普 阿部 恵子	英語	文 中島 洋介	数学	文 江口 淳二	国語
3組	普 三木 雄介	保体	文 彦坂 優子	英語	文 若井 牧夫	英語
4組	普 石井みなみ	数学	理 川島 純一	保体	文 小松原洋行	英語
5組	普 塚田 信哉	保体	理 金子真奈美	国語	理 橋 健治	英語
6組	普 數馬 大介	国語	理 野崎 和夫	理科	理 東出 葉月	国語
7組	普 若林 政和	数学	理 高橋 光太	数学	理 関根 章文	地公
8組	普 高橋佑未子	英語	理 工藤 優樹	地公	理 鶴岡 薫	芸術
9組	普 山田 武範	理科	理 野口 大輔	国語	理 石井 良	理科
10組	普 金 恵潤	英語	SSH 田中 正行	数学	理 吉田 恵美	英語
11組	SSH 田村 英典	数学			理SSH 桑原 賢二	数学
12組					特文理 高木 公子	数学
学年所属	益田 和美	国語	今井 貴志	地公	毛利 均	地公
	神田 秀樹	国語	河野 旭	数学	大上 剛	数学
	宮島 孝一	地公	塩出 美咲	理科	上松 未来	理科
	島 晴己子	地公	長田 一水	理科	畠田 貴生	理科
	新井 真人	理科	山本 祐美	保体	松橋 敬一	保体
	中村 春樹	理科	福村ホジョン	保体	渡部 晃	保体
	吉川 博人	保体	山口恵美子	芸術	山本 泰子	家庭
	松澤 幾代	養護	小泉東一郎	芸術	高橋 幸夫	情報
			島田 聡	英語		
			南館由里香	英語		

## 教科担任

教科	氏名	教科	氏名
国語	竹内 啓太	英語	レネー・レンジェル
	大橋可奈子		マイロ・エイシ
地公	坂田 充		トッド・スペンスパーキンス
	島貫百合子		ジェイソン・サマービル
数学	上谷 大助		ザッカリー・バート
	安原 宏明	ダグラス・ヒース	
理科	大津さやか	家庭	馬場 香
	草壁 彩	情報	金子 明充
保体	神野 愛子		
	山崎 一沙		
芸術	高野 道子		
	大谷 美希		
	鈴木 敬子		
	関口 麻里		
	高橋 芳江		
英語	西沢 慕美		

## 部・同好会活動

茶道講師	石田 康代
華道講師	清水 邦子
ラグビーコーチ	田村 謙一
アーチェリーコーチ	久保 誠
野球部コーチ	古谷 信之
野球部コーチ	神原 央
吹奏楽部客員講師	加養 浩幸
男子バスケットボール部トレーナー	小山 孟志
弓道部コーチ	石坂 幸一
アメリカンフットボールコーチ	小紫 嘉之
アメリカンフットボールコーチ	小川 潤
柔道部コーチ	佐藤 陽介

## 事務

係長	加賀谷ノリ子
	岡崎 和弘
	青柳 美穂
	佐藤 佳子
	笈川 絵美
	飯田 祥子

## 助手・司書

情報・理科助手	柴崎 智宣
情報・理科助手	袖山 孝明
図書館司書	酒井 あや

## 医師・教育総合相談室

医師	彰 一祐
医師	村上 健
教育総合相談室	松本 浩二

職員室の様子





## 2006年度 部・同好会顧問 紹介

昨年度は、複数の部活動が3年生を中心に、国際大会あるいは全国大会に出場し、立派な成績を残しました。感動でした。先輩たちの「夢をあきらめない」という精神と、建学の精神である文武両道の精神を柱にして、新3年生を中心に、今年度もさらに飛躍し高校生活を燃焼しよう。そして、新しい部・同好会顧問、監督コーチの指導のもと、再び高輪台高校の名を全国に広めてください。

### 部 顧 問 ( 運 動 系 )

部	顧 問	備 考
1. 陸上競技部	小松原洋行	
	山本 泰子	
2. 男子バスケットボール部	米谷 昭人	監 督
	大上 剛	
	長田 一水	
	(小山 孟志)	(トレーナー)
3. 女子バスケットボール部	高橋佑未子	監 督
	大上 剛	
	金 恵潤	
4. 男子バレーボール部	田中 正行	監 督
	上松 未来	
5. 女子バレーボール部	山本 祐美	監 督
	福村ホジョン	
	(山崎 一沙)	
6. ソフトテニス部	野々村 淳	監 督
	新井 真人	
7. スキー部	橋 健治	
	山田 武範	
8. 卓球部	野崎 和夫	
	田村 英典	
	細田 功	
9. ラグビー部	三木 雄介	監 督
	松橋 敬一	
	(田村 謙一)	(コーチ)
10. サッカー部	吉川 博人	監 督
	江口 淳二	
	數馬 大介	
	川島 純一	
11. バドミントン部	益田 和美	
	彦坂 優子	
12. 柔道部	酒井 孝允	監 督
	塚田 信哉	
	(佐藤 陽介)	(コーチ)
13. 剣道部	笹木 春光	監 督
	今井 貴志	
14. 弓道部	東出 葉月	
	関根 章文	
	(石坂 幸一)	(コーチ)
15. テニス部	若林 政和	
	島田 聡	
	(大谷 美希)	
16. アーチェリー部	河野 旭	
	高橋 昇	
	(久保 誠)	(コーチ)
17. 野球部	宮島 孝一	監 督
	桑原 賢二	
	高橋 光太	
	(古谷 信之)	(Pコーチ)
	(榊原 央)	(コーチ)
18. ゴルフ部	神田 秀樹	
	高橋 幸夫	
19. ダンス部	高木 公子	
	中島 洋介	
	塩出 美咲	
20. アメリカンフットボール部	毛利 均	
	中村 春樹	
	(小紫 嘉之)	(コーチ)
	(小川 潤)	(コーチ)

### 部 顧 問 ( 文 化 系 )

部	顧 問	備 考
1. 放送部	工藤 優樹	
	森 公法	
2. 吹奏楽部	島田 貴生	
	石井みなみ	
	山口恵美子	
	(高野 道子)	
3. 演劇部	(加養 浩幸)	客員講師
	野口 大輔	
	南館由里香	
4. 物理化学部	梶野 雄二	
	石井 良	
5. 写真部	伊藤 明	
	高橋 昇	
6. 美術部	鶴岡 薫	
	小泉東一郎	
7. マルチメディア部	若井 牧夫	
8. 茶道部	金子真奈美	
	(石田 康代)	
9. 軽音楽部	島 晴己子	
	渡部 晃	
	阿部 恵子	

### 同 好 会 顧 問

部	顧 問	備 考
1. ESS同好会	吉田 恵美	
	田中 亨	
2. ディベート研究同好会	梶川 克之	日本語ディベート
	大澤 泉	英語ディベート
3. 華道同好会	金子真奈美	
	(清水 邦子)	



ナイター照明完備の全天候テニスコートで練習するテニス部

# SHIP・カナダ中期留学で異文化に触れた先輩たち

3年生を対象とした、第3回カナダ中期留学に13名が参加、そしてSHIP（ハワイ東海インターナショナルカレッジへの中期留学）には5名が参加しました。それぞれ親元を離れ、日本語の通じない世界で異文化に触れ、視野を広め、人間として一回りも二回りも成長して帰国しました。

## 留学生体験記 ..... SHIP (ハワイ中期留学)



### SHIPの感想

東海大学理学部情報数理学科進学

佐野 晃平

川崎市立橋中学校出身

ハワイでの勉強はすべて英語で、先生も英語のネイティブスピーカーです。授業の科目は、文法など日本の英語の授業のようなEnglish I とEnglish II。アメリカの文化や歴史を学ぶAmerican Culture。ハワイの歴史、文化を学ぶHawaiian Culture。プレゼンテーションやスピーチを練習するSpeech。パソコンを使うMulti Mediaがありました。どの先生も個性的でした。授業は14人から15人と、かなり少なく、先生は一人ひとりを見ています。人数が少ない分、一人ひとりが発言する必要があるので積極的になれました。

毎週土日が休日です。僕はアラモアナショッピングセンターやワイキキに遊びに行きました。バスで遠出することもできます。娯楽施設は少なく、基本的に買い物を中心でした。日本と違う町並みや建物、店を見たりしてここは外国なんだなと実感しました。客に対しては日本の方が丁寧

だと感じました。異文化に触れ合うことで物事を違った視点で見直す機会もありました。寮生活なので毎日が旅行のようで楽しかったです。夜遅くまで友達と話す日もありました。誰かの誕生日にはパーティを開いてお祝いしました。みんなとの結束がパーティで深まりました。

他にも数え切れないほどの良い経験をSHIPで得ることができました。この経験はとても貴重で価値のあるものです。僕はSHIPに参加して本当に良かったです。



SHIP参加者全員集合

## 留学生体験記 ..... カナダ中期留学



### カナダの思い出

東海大学健康科学部看護学科進学

岩下 璃香

大田区立馬込中学校出身

カナダの思い出・・・それを一言で表すと、とにかく楽しかった！としか言えません。私の第二の家族であるホストファミリー&コーディネーターの方、語学学校の様々な国の友達、現地の高校での友達、そして、一緒に中期留学をした12人の仲間。本当にみんな楽しくて、優しく、何よりも私を強く支えてくれました。そして、私は様々なことを学び、成長することができました。それは、“どっちでもいい”ではなく、“Yes”か“No”のはっきりとした自分の意志を持つことだったり、自分の言葉に責任をもつことだったり、自信を持つことだったり、日本での私に足りなかったことです。そのなかでも、私が一番この中期留学で学んだことは、挨拶の大切さです。カナダでは、バスの運転手さんや、カフェ、ショップ、スーパーの店員さんなどが必ず、“Hi, How are you?”と挨拶をしてくれました。日本にいたときは、知らない人と会話をか

わすなど考えられなかったし、正直したいとも思いませんでした。でも、挨拶をされるとうれしかったし、気分も明るくなっている自分がいて、たった、二言のコミュニケーションが、私に毎日の小さな幸せを与えてくれました。日本に帰ってきてからは、それがなくなってしまってとても寂しいです。

カナダ中期留学は、私の18年間の人生の中で最高に貴重な2ヵ月間でした。本当に行って良かった。みんなに出会えて良かった。知り合えて良かった。これからもっと自分を磨いて大きくなって、いつかまた絶対に第二の故郷に戻りたいです。



バンクーバー・スタンレーパークにて

# 部・同好会活動紹介

## 剣道部

顧問 笹木春光・今井貴志 部員数 12名

### 「正しく、強い」を目指して

石井 恭兵

3年5組 須賀市立岩戸中学校出身

剣道は礼に始まって礼に終わるスポーツです。一瞬で勝負は決まってしまうので、精神統一をしなければならぬスポーツです。それ故、自然に集中力が高まり、一つのことに集中できるようになります。また、伝統的な武道でもあります。

部員数は少なめですが、みんな声を出して、練習ではとても気合の入る練習をしています。また、土日には外部の先生も稽古に加わり、より充実した練習ができます。

目標は、3年前以来達成できていない関東大会出場です。毎回、支部予選は勝ち抜き、都大会の後一歩か二歩というところまでいきます。夏休みには、合宿や学園オリンピックなどで自分たちの力を向上させます。冬休みには、千葉に遠征し自分たちの力

を試します。自分たちは練習時間だけではなく、日常生活を正して、強くなることを目指しています。3年生が抜けたばかりで、人数も少なく、実力もまだまだの自分たちですが、これからも努力をし、目標が達成できるよう一步一步頑張りますので、応援をよろしくお願いします。

※お詫びと訂正

3月号の『部・同好会結果報告』で、剣道部を報告できませんでした。結果は、男子都大会出場、女子個人都大会ベスト8です。



## 男子バレーボール部

顧問 田中正行・上松未来 部員数 17名

### 「躯」より「心」!

山下 一樹

3年6組 川口市立戸塚中学校出身

火曜日はトレーニングの日とし、月曜日を除くその他の日は土日も含めてアリーナで活動しています。目標は関東大会出場です。この目標は歴代、



目標としているのですが、残念ながらまだ達成できていません。去年は惜しくも都ベスト16に終わってしまい、あと少しの所で関東大会出場を逃してしまいました。そのときの悔しさをバネに私たちは今まで練習してきたので、今年こそは出場できると確信しています。

今の部員は全体的に身長が高いとは言えません。バレーボールは背が高い方が有利ですが、低いから出来ないというわけではありません。むしろ、リベロというポジションは背が低い方が有利ですし、背が低くても高く跳ぶことができればリベロ以外のポジションは可能です。背が低いということより大切なのは、精神的に強くなければいけないということです。バレーは気持ちのスポーツなので、少しでも「負けてしまう」と思ったらすぐに負けてしまいます。それ故、バレー部に入ると、精神面も鍛えられます。また、バレーはチームプレイなので、団結力も生まれます。私たちは体力的、精神的向上を目指し、目標に向かって日々努力しています。



# 2005年度 SSH活動報告



SSH活動2年目。初年度と大きく違うことはSSHクラスを1・2学年に設定したことです。1年生46名、2年生20名のSSHクラスを中心に、基礎から最先端の科学まで様々なことを学んできました。

SSH2年目の昨年度は活動の成果を様々な研究発表会で発表しました。英語でのプレゼンテーションも億することなく発表し、SSHの醍醐味をそれぞれが感じたことと思います。

2006年度はSSH活動の区切りの年となります。SSHクラスも3学年全てに設定されます。また、SSHクラス以外の生徒も参加できるプログラムも実施していきたいと考えております。多くの生徒がSSHというチャンスを生かし、様々な科学技術について体験してもらえれば幸いです。

## リベラルサイエンスⅠ（本校にて放課後実施）

5分野(物理、化学、生物、地学、数学)において、各4回の授業を実施。

- 物理 『波動の性質』……東京理科大学 松尾康光先生 「電波の受信と送信」
- 地学 『宇宙と地球について』
- 生物 『発生と遺伝子』……お茶の水女子大学 服田昌之先生 「電気泳動と染色によるタンパク質の検出」
- 化学 『科学史』
- 数学 『パワーポイントを用いたプレゼンテーション』

## リベラルサイエンスⅡ（土曜日に本校および各訪問地にて実施）

- 英語科学プレゼンテーション……ヴィアヘラー・ギャリー先生 ヴィアヘラー・サチヨ先生
- 大学・研究機関への訪問……日本科学未来館、NHK放送技術研究所、産業技術総合研究所地質標本館 宇宙航空研究開発機構筑波宇宙センター（筑波学園都市） 川口市立科学館、共立薬科大学

## 科学体験学習旅行（7月20日～23日）

- 東海大学海洋科学博物館（静岡）
- 核融合科学研究所（岐阜）
- 瑞浪市化石博物館（岐阜）
- セイコーエプソン（株）神林事業所（長野）

1学年SSHクラス対象

## リベラルサイエンスⅢ（東海大学湘南校舎にて夏季休暇中実施）

物理コースと生命科学コースのいずれかを選択し、講義と実験を実施。

- 物理 『光技術の基礎を体験』『ナノテクノロジーの現状と原子の世界』
- 生物 『大腸菌の実験』『脳の細胞観察』

## 課題実験（本校にて放課後実施）

前半は、5分野(物理、化学、生物、地学、数学)において、各3回の実験を実施。  
後半は、個人でテーマを設定し、実験を行い発表。

2学年SSHクラス対象

## 特別講演（高校現代文明論）

- スタニスラウ・フィリペック博士による講演

1学年 全体対象

## 関東3校 伊豆大島合同野外実習（8月2日～4日）

千葉県立柏高校と芝浦工大柏高校の生徒と交流し、フィールドワークを体験。

全校生徒対象

## 研究発表

- 8月 全国SSH指定校研究発表（3年生のポスター発表）、科学教育連携シンポジウム2005 於日本科学未来館（2年・2名「SSHの醍醐味」ポスター発表）
- 9月 日本地質学会「小さなEarth Scientistのつどい」ポスター展示参加
- 11月 SSFair 2005 立命館高等学校主催 1年2名、2年2名参加。英語による発表と学校紹介
- 12月 高校生シンポジウム プラズマ・核融合学会主催 2年生のポスター発表、ベストポスター賞を受賞
- 2月 本校SSH報告会 課題実験、リベラルサイエンスⅠ、科学体験学習旅行の発表
- 3月 関東近県SSH合同発表会 本校アリーナーにて開催、SSH指定校8校が発表

## 教育総合相談室では・・・

高校時代は、人間関係、学習、進路、部活動など、身体的にも精神的にも悩みや不安の多い時期です。生徒の成長のために悩みや不安は大切ですが、なかには自分だけでは解決できないことも多くあります。本校には教育総合相談室という場所があります。相談室では生徒が学校生活をする上で生じるあらゆる不安や迷い、悩みなどの相談にのり、その問題解決のための援助を行っております。

相談室に来る人には様々な人がいます。相談内容について、他にもらすことはありません。どのような内容でもかまいません。“例えばなんとなく学校が楽しくない。”から“自分は人からどう思われているのか気になる。”などなど。気楽にご相談ください。

### Q1. 相談日時と相談のスタッフは？

本校教員	片桐知己治、島晴己子、神田秀樹、阿部恵子、野崎和夫、高木公子、米谷昭人(随時)
スクールカウンセラー	松本浩二(水・金)
内科・精神科医師	村上 健(毎月第2水曜日 *ただし、10月は第2火曜日、8月・3月は休み)

### Q2. 場所は？ 教育総合相談室(事務室のとなり 職員玄関の前)

### Q3. どうやって相談する？

「直接教育相談に行く」方法と「予約をして相談する」方法があります。  
スクールカウンセラーと専門の医師の相談は、基本的に事前の予約が必要です。

- ☆ 直接相談室に行き予約をする。  
**予約をするには・・・** ☆ 学級担任の先生もしくは保健室を通して予約をしてもらう。  
 ☆ 電話で予約をする。(電話代表 03-3448-4011)

### Q4. 健康面の相談は？

精神的な悩みをかかえることで、体調を崩すことがあります。  
 そのようなときは、保健室と連携してサポートをしていきます。  
 また、月一回健康面での専門医による相談も行っています。



## 高輪短大 INFORMATION

### 短期大学の将来像 ～近い将来、経営管理者養成を行う学科を設置したい～



高輪台高等学校と地続きの隣にある短期大学部は、昭和12年(1937年)に開学した電気通信工学校を母体として昭和38年(1963年)短期

大学部電気通信科(後に、電気通信工学科)として新発足しました。爾来、44年に亘り中堅技術者養成機関として、多くの人材を主として電気通信分野に輩出し、大きな足跡を残して参りました。現代社会における科学技術の発達が目覚ましいものがあり、本学も時代の進展に即した教育内容が求められています。現在は、情報・ネットワーク学科としてコンピュータ技術者養成を主としたカリキュラムを揃えて、社会の養成に

東海大学短期大学部 学長 松任 茂樹

対応しています。

しかし、最近の本学志願者の動向を観察しますと、コンピュータを扱う内容に、多少変化を来たしているようです。その内容は、コンピュータ技術者と言われる者から、コンピュータを駆使できる技能者へと変化しております。そこで、本学にも近い将来には、コンピュータに精通し、駆使できる経営管理者養成を行う学科を設置し、社会的要望に応えたいと考えております。

## お知らせ

# 2006年度 学園オリンピック 応募要領決定 チャレンジしよう!!

孀恋セミナーがあなたを待っている。優秀賞に輝くと大きな特典が!!

部門	一次試験・提出期限	提出・問合せ先	部門	一次試験・提出期限	提出・問合せ先
国語	作品 4月20日(木)～5月10日(水) 部門:小説、詩、評論・エッセイ	工藤先生	造形	作品 5月17日(水)～5月23日(火) 部門:絵画・版画・彫塑・立体造型・デザイン、写真・映像、その他	渡部先生
数学	一次 5月25日(木) 筆記試験 論文 4月20日(木)～5月10日(水)	中島先生	音楽	応募期間 4月1日(土)～4月13日(木) 部門:楽器独奏、声楽独唱	畠田先生
理科	レポート 4月20日(木)～5月10日(水)	塩出先生	知財	レポート 4月20日(木)～5月10日(水)	東出先生
英語	一次 5月26日(金) 作文 4月20日(木)～5月10日(水)	金先生	ディベート	一次 5月24日(水) 作文 4月20日(木)～5月10日(水)	梶川先生

※応募作品・氏名・写真等は、学校報『飛躍』、『東海大学新聞』等に掲載されることがあるので、承知のうえ応募して下さい。

## 行事予定

### April 4月

- 1日(土) 新入生登校(13:00)
- 2日(日) **第63回入学式(10:00)**
- 3日(月) **振替休日**
- 4日(火) **前期始業式、対面式、就任式**
- 5日(水) オリエンテーション(1年)、**自宅学習日(2年)**、健康診断・写真撮影(3年)
- 6日(木) オリエンテーション(1年)、健康診断・写真撮影(2年)、**自宅学習日(3年)**
- 7日(金) オリエンテーション、健康診断、写真撮影(1年)、**自宅学習日(2,3年)**
- 10日(月) 授業開始、校医相談日(15:00～17:00)
- 12日(水) 学園基礎学力定着度試験(1,2,3年)、専門医によるカウンセリング
- 13日(木) 進路説明会(3年、1時限目)
- 14日(金) 新入生仮入部期間終了
- 15日(土) 保護者会(1年)
- 18日(火) 生徒個人面談開始(～5月12日まで)、体育移動教室(～5月12日まで)
- 20日(木) 学年集会(2年)
- 22日(土) 保護者会(2,3年)
- 27日(木) 憲法記念講演(1年、1・2時限目)
- 29日(土) **みどりの日**

### May 5月

- 1日(月) 朝礼、水曜日の授業
- 3日(水) **憲法記念日**
- 4日(木) **国民の休日**
- 5日(金) **こどもの日**
- 8日(月) 校医相談日(15:00～17:00)
- 10日(水) 一斉公開授業、専門医によるカウンセリング
- 11日(木) 学年集会(3年)
- 13日(土) 校外活動(1・3年)  
スポーツ大会(2年・総合グラウンド)
- 16日(火) 水曜日の授業
- 17日(水) 中学校巡回、中学校訪問(1年)、**生徒自宅学習(2・3年)**
- 18日(木) 生徒による授業評価アンケート
- 20日(土) 第34回後援会委員総会  
第3回部活動後援会定期総会
- 23日(火) 中間試験(～26日)
- 29日(月) 教育実習(～6月16日)

## 2005年度卒業証書授与式の様子



## 編集後記

昨年11月号で、飛躍1号から75号までを探していると書いた。すると2月、当時の研究主任が几帳面にも保存していて送ってくれた。これで飛躍の歴史が繋がった。そのB4判片面印刷の1号には、「四つの言葉」が高々と掲げられていた。私もこの文言に初めて出合ったときは胸を熱くした。この文言は表紙最上段に毎回掲げている。正しい価値判断(思想)ができるように勉強を重ねて知能を磨け、そのような思想は健全な体躯に宿るもの。そして理想を星につなげと提言している。その内容も文言も良し。近頃の拝金主義のはびこる時代の世界の若者に、この文言を提示したい。527名の新入生も在校生も、再度かみしめてもらいたい。(ゆ)

東海大学付属高輪台高等学校

TEL.03(3448)4011 FAX.03(3448)4020 ホームページ: <http://www.takanawadai.tokai.ed.jp/>